



神奈川県横浜市泉区での上棟と採用されたフロッキン金物工法



運送費を削減、金物取付け費ゼロ

## フロッキン金物工法の構造見学会

ダイドーハント / 栗山百造 / ユウアーキテクト・リアル



最近の構造用金物を使った木造住宅は、特に大都市圏において、断面欠損のない接合部へのこだわりが顕著になりつつある。

3月16日(土)に神奈川県横浜市泉区で行われた建て方工事では、施工からの要望で、断面欠損のない接合部とすべく、(株)ダイドーハント(本社・大阪府中央区)と(株)栗山百造(本社・新潟県三条市)が製造・販売する「フロッキン金物」を用いた金物工法が採用された。

設計・現場管理・施工を行っているのは、ユウアーキテクト・リアル(株)(所在地・神奈川県三浦郡葉山町)。建売住宅の請負や注文

住宅の元請け、構造・意匠設計・施工までを行う工務店である。代表取締役の三角和也氏(一級建築士)によると、フロッキン金物の採用は今回がはじめてのことで、地震に強い木造の家を要望する施主のために断面欠損のない金物工法を採用することになった。

住宅は建替え中のもので、斜線制限をクリアして敷地一杯に建てられている。構造体を見ると、断面欠損のない接合部が理想的であることが目で確認できた(写真)。

建て方工事は午前9時にスタート。野地板をはって4時に終了。初めての工事だったので時間がなかったが、慣れば半日強ほどで終わるといふ。現場で金物を取りつける工法なので、荷材ががさばらず、4トン車による運送を1台分削減することができた。またプレカット工場での手作業による金物取り付け費用(工場によって異なるが、平均的な手数料として1坪1500円〜1900円ほど)をゼロにすることができた。運送費の削減と取り付け費用をゼロにすることが可能となり、元請工務店にとってもメリットのある工法であることが分かった。